

# 当院の新型コロナウイルス対応

感染管理認定看護師 河内 永法



新型コロナウイルスは2023年5月8日より、感染症法の位置付けが2類相当から5類感染症に移行しました。これに伴って行政が関与してきた患者の入院措置や自宅待機の要請は行われず、各個人の判断によって感染対策を行うことになりました。

日常生活はコロナ前に戻りつつありますが、医学データからは、新型コロナウイルス終息の兆しはみえていません。また当院のような療養型の病院では、感染症に対して免疫力が低下した高齢の患者様が多く、新型コロナウイルスが院内に持ち込まれると一気に感染拡大を起こしてしまいます。そのため当院では以下の感染対策に取り組んでいます。

## 当院の主な新型コロナウイルス対策



項目	感染対策
マスク着用	職員は勤務時マスクを着用しています。外来受診時や面会の方にも院内ではマスクの着用をお願いしています。
面会	予約制で月2回まで、面会時間は15分以内で、1グループ3名までとしています。
感染拡大防止の訓練	新型コロナウイルスが持ち込まれた場合、感染が拡大しないよう初動対応訓練を定期的に行っています。
感染対策研修	新型コロナウイルスの感染対策について、全職員を対象に2回以上/年の研修を実施しています。

過去の状況を踏まえると、夏は旅行やレジャーなどで人の往来が増えるため感染が拡大する傾向にありますので、引き続き感染対策を実践していきます。



## 車椅子をご寄贈いただきました

東洋羽毛中四国販売株式会社様より令和5年3月15日に当院看護職の活動に対しご支援をいただきました。松永院長と西島看護部長が対応し、同社の山口営業所西岡所長様に、看護部長から「コロナ禍において、様々なご支援に深く感謝致します。現場でしっかり活用させていただきます。」とお礼を述べました。

ありがとうございました  
大切に使用させていただきます



## 通所リハビリに新しいマシンを導入しました！

### 有酸素運動マシンの紹介

商品名：クロスステップ

このマシンでの運動は有酸素運動と筋力トレーニングの効果を期待できます。

-マシンの特徴-

- ①座ったまま運動が出来るので、転倒などの危険は少ない
- ②車椅子の方も、そのまま運動を開始することが出来る
- ③手と足が連動しているため、足が弱っていても全身の運動が出来る
- ④足と太ももの固定が出来るので、片麻痺の後遺症の方にも有効

この他に、小柄な方（身長が135cm程度）にも対応していたり、運動負荷は8段階に調整できるなど、幅広い身体状況の方々が簡単に運動しやすい道具となっています。



## 看護の日の催し



看護の日とは、日本で制定された国際ナースデーの記念日です。5月12日のフローレンス・ナイチンゲールの誕生日に由来して全国の病院などで行われています。当院では、地域の方との交流を目的として、毎年「北向地蔵尊の例祭（毎月24日）」に合わせて5月24日に開催しています。

コロナ禍の約3年間は中止、昨年は小規模でしたが、今年度はコロナが2類から5類に変更したことで開催できました。今回は健康機器（血管年齢測定・骨ウェーブ測定・もの忘れ相談タッチパネル測定）を用いて行い、参加者は70人前後でした。参加された地域の人から「久々にする。」「やりたかったのよ。」「今年はするのね。」「久々に来たね。」「とお声をかけていただくこともあり、興味をもって参加していただきました。特に、血管年齢測定や骨ウェーブ測定は人気があり、検査結果に一喜一憂されました。私たちも地域の皆様と笑顔でお話が出来、貴重な時間を過ごせました。

来年も皆様に楽しんでいただけるよう努めますので、是非足をはこんでみて下さい。お待ちしております。

看護部：森川麻美 松本淳子

